

Title	編集後記
Sub Title	
Author	小川原, 正道(Ogawara, Masamichi)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2022
Jtitle	慶應義塾大学大学院法学研究科論文集 (Proceedings of Keio University Graduate School of Law Studies in Law and Politics). No.62 (2022. ) ,p.295- 295
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10069591-00000062-0295">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10069591-00000062-0295</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

第六十二号の『大学院法学研究科論文集』が刊行された。本号には、政治学に関する五本の論文が掲載されている。シーパワー、ナゴルノ・カラバフ紛争、日米同盟の制度化、天皇機関説事件、マイクログレッシュョン、といったテーマに対し、それぞれ、理論的、歴史的、メディア史的、また社会的なアプローチから検証を試みたものである。読者諸氏からの、忌憚ないご意見、ご批判、またアドバイスを頂戴したい。

本誌の投稿資格は、本学大学院法学研究科に在籍する学生に与えられているが、今回は、政治学専攻の学生からの投稿に限られた。修士論文の成果を公にしやすい媒体でもあるため、民事法学、公法学専攻の学生からも、意欲的な投稿を期待したい。

本号の編集にあたり、御尽力くださった慶應義塾大学出版会の堀井健司氏に、厚く御礼申し上げる次第である。

令和四年五月

『大学院法学研究科論文集』担当編集委員 法学部教授 小川原 正道